

たかが受験。されど受験。

片桐英数塾通信

Plan-Do-Check-Action!

七月。とうとう来てしまいました。冬の受験の頃になってふと過去を振り返った時、たいがい思い出すのは、受験の厳しさをそれほど感じてなかった割と平和だった七月の頃の自分です。「夏、もっと頑張っておけば良かった・・・」。この言葉をこれまで何度聞いてきたことか・・・。だから、「後になって後悔だけはさせてはならぬ・・・。」という「これまでの経験からも、少々が入ってしまいます。とは言いながらも、高3生を取り巻く環境は、これから随分と変わっていきます。回りの友達の顔にも「受験」という文字が浮かんで見えるほどに、辺り一面「受験」だらけになっていきます。だから、わざわざあらためて「受験・受験」と騒がずとも、否が応でも「受験ワールド」に引き込まれるものなのです。「受験ワールド」に突入するに上での注意事項を書いておこうと思います。

時間に追われるのではなく、勉強を追いかけるのが理想だと思おう。

よく、勉強の量を表現する単位に「時間」を利用します。「昨日は〇時間も勉強した!」とか。私も先月号の中で「十時間」という表現を使いましたし、勉強の量を伝えるのに分かり易いのはやっぱり「時間」です。計画をしたり自己管理をする上でも

「時間」を基準に考えると、そんなに悩むことも迷うことでもありませんし、やっぱり「時間」で考えるのが手取り早くて良いものです。ただ、ちょっと「伸びるための勉強」をするには「時間」が邪魔になる時があります。例えば、当初の計画では英語の単語を覚える予定の時間になったのに、今やっている数学の問題をもう少しじっくりと考えたいとかいう状況です。こういったケースをほぼ全員が経験すると思います。その際の選択は人それぞれだと思いますが、あえてベターと思える選択を考えますと、今やっている数学の問題に集中しているなら「考え抜く」ことを優先した方が良いでしょう。時間を来たからと言って他のことへ移ることが習慣になると、「考える」よりも「時間」を優先するようになってしまいます。「考える」という作業は、正直、くたびれます。体を動かしていないのにヘトヘトになります。時間がきたら考えるのをやめて次へ行きたくならないことも正直あります。ただ、それを習慣にしてしまうと、考えるよりも机に向かうだけで満足してしまう言い訳の勉強が習慣になってしまうと、勉強時間の割に成績が伸びません。

ただ、逆に、数学の苦手な人が、今、英語の単語を覚えているのに、今、英語の単語を覚える事に凄く集中しているから、計画では数学の時間だけど単語を覚えよう」という選択をするならば、それは間違いだと思えます。英単語などの暗記系は、長引くほど集中力は低下します。このケースでは大人しく数学に取り掛かるのがベターです。単語はドスンよりもサラサラってイメージです。

とは言っても「計画」はとて大切なものです。

「夏休みは計画を立てて過しましよう」。私の知る限りでは、小学生の時から言われ続けていると思います。その分、「また計画か・・・」と、若干、ゲンナリしてしまう人もいるかも知れませんが、しかし、なぜ、こんなに「計画」ばかり言われるのか? はっきり言ってしまうと「計画」がなければ始まらないからなのです。やるからには、しっかりと考えて、細部にまで配慮した計画を作りたいものです。が、そんな精巧な計画があまり易々とできるはずがありません。よく、勘違いして、自分のやるべきことを書き出し、表にギョウギョウウに押し込んだ計画を作り、やってみて実行などとも無理だと分かり、泣きそうになりながら「計画通りにいかん」と言っている人がいます。自分に求めすぎてしまったのです。計画を立てている時って欲が出てしまっている時って欲が出てしまっています。計画って何なのか? 実は、実行するためにするものなのです。だから、実行できな

い計画は「絵に描いた餅」などと言われます。計画は実行できなければ何の意味もありませんので、「あ、こりや無理だわ」と悟ったならば、実行できる計画を立て直してください。

計画を立てる際に、自分が確実に達成できる目標と、努力すれば達成できそうな努力目標の二つの目標を作っておくと良いです。無理のある計画を立てて「できない」という悩みよりも、出来る計画を立てて「できた」と言える喜びの方が、精神的にもとても良いです。

たかが受験。されど受験。

「大学に入るために仕方なくやるもの」と、無意識に受験勉強を定義している人って多いと思います。そりゃ「受からんと入れんぞ」と言われて、苦手な科目も一生懸命勉強しなければいけないのだから、そんな気にもなりますよね。ただ、思うに、得るものもとても大きいです。現代文の論理的、客観的な読み方は社会人になっても、いや、現代社会を生きる上でとても大切な力となります。数学は計算したり正解を求めたりするだけじゃなくて、様々な問題を解決するに際し、基本となる考え方が数学ではなからうかと思えます。問題が発生し解決する際、問題点を把握し、場合に分けて考察し、最も良い解決を模索し、その解決ルートで最も効果的かつ効果的なもの



河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

を選択するという、実生活においてみんなが無意識に行っていることが数学とすごく合致します。それと、古文、漢文などでも古の教えを学べる訳で、人間としての成長にとっても役立つものが多かったように思っています。

そして、もっと大事なものが、「嫌いなもの・苦手なもの」との付き合い方を学ぶことだろうと思います。生きていて、苦手だからと言って逃げてしまったりは始まらないことは数多とあります。嫌だからと言って嫌な顔で取り組んでも駄目なことも数多くあります。どうせやるなら「楽しくやろう」と工夫して取り組んでると、だんだん「苦手」と仲良くなれるのだろうと思います。

こんなふうな考えてみると、「受験」は志望校に合格するためのだけのものではないように思えます。各教科を通じて物事の考え方を学べますし、合格を目指す中で物事の向き合い方を学べます。そして、頑張れば頑張るほどに自分と向き

お車での送迎について

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

坂本教室からのお知らせ

塾からのお知らせ、徒然日記などをブログにて配信中!
<http://katagirijuku.blogzine.jp/blog/>
当塾のホームページからもリンクしています。
<http://www.katagirijuku.com>

※ 坂本教室の7月の休日は、
4日(日) 11日(日) 18日(日) 25日(日)です。

メールでの連絡はこちらまで!
メールアドレス info@katagirijuku.com

「中学生夏期特別講習」開講!

坂本教室では中1~中3生を対象に夏休みの夏期特別講習を開講します。

- ◎重要事項の徹底復習+確認テスト
中3生は国英数理社の5教科、中1・2生は英語・数学の2教科基礎力の徹底を図るとともに、実戦演習で応用力をつけます。
- ◎香川県統一模擬試験の実施 希望者のみ
中3生は5教科、中1・2生は3教科実施。県内全ての高校の志望校判定ができます。
- ◎個別受講システムを利用した苦手教科対策授業(5教科対応)
「基礎」「標準」「発展」と個人の学力レベルに応じた映像授業を個別に受講。面談により、全135講座の中から苦手教科を中心に個々に必要な講座を選び、都合の良い時間・曜日に受講できます。希望者のみ

※ 夏期特別講習に関するお問い合わせ・お申込みは坂本教室まで。